

# 島根県内の温室効果ガス排出量について

(2014年度(平成26年度)確定値及び2015年度(平成27年度)速報値)

## 1. 温室効果ガス排出量

2015年度の温室効果ガスの総排出量は612万8千トンで、基準年(1990年度)と比べて9.1%増加しました。

部門別では、運輸部門は22.1%減少したものの、産業部門は12.9%、民生業務部門は52.6%、民生家庭部門は42.2%とそれぞれ増加しました。

島根県の温室効果ガス排出量

(千t-CO<sub>2</sub>)

	1990年度 (基準年)	2014年度 基準年比	2015年度 基準年比	前年度から の増減	2015年度 構成比率
二酸化炭素	4,954	5,859 18.3%	5,745 16.0%	-1.9%	93.8%
エネルギー起源	4,875	5,697 16.9%	5,581 14.5%	-2.0%	91.1%
産業部門	1,788	2,034 13.7%	2,020 12.9%	-0.7%	33.0%
運輸部門	1,407	1,107 -21.3%	1,096 -22.1%	-1.0%	17.9%
民生業務部門	731	1,131 54.7%	1,116 52.6%	-1.3%	18.2%
民生家庭部門	949	1,425 50.3%	1,349 42.2%	-5.4%	22.0%
廃棄物部門	79	162 106.6%	165 109.4%	1.4%	2.7%
その他の温室効果ガス	663	393 -40.6%	383 -42.2%	-2.6%	6.2%
合 計	5,617	6,253 11.3%	6,128 9.1%	-2.0%	100.0%
森林吸収量	-	-1,640 -29.2%	-1,678 -29.9%	2.3%	
森林吸収量を加えた温室効果ガス排出量	5,617	4,613 -17.9%	4,450 -20.8%	-3.5%	

(注)2015年度の数値については速報値であり、各種データが確定した段階で確定値となる

## 2. エネルギー使用量

2015年度の県内のエネルギー使用量は48,423TJとなっており、前年度と比べて1.7%減少し、基準年(1990年度)と比べると9.2%減少しています。

部門別では、産業部門と運輸部門については基準年より減少しましたが、民生業務部門は21.6%、民生家庭部門は13.9%増加しました。

島根県のエネルギー使用量

(TJ)

	1990年度 (基準年)	2014年度 基準年比	2015年度 基準年比	前年度から の増減	2015年度 構成比率
産業部門	18,227	15,666 -14.1%	15,583 -14.5%	-0.5%	32.2%
運輸部門	19,360	14,480 -25.2%	14,342 -25.9%	-1.0%	29.6%
民生業務部門	7,386	8,884 20.3%	8,983 21.6%	1.1%	18.6%
民生家庭部門	8,351	10,225 22.4%	9,515 13.9%	-6.9%	19.6%
合 計	53,323	49,255 -7.6%	48,423 -9.2%	-1.7%	100.0%

## 資料

### [はじめに]

○県の温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量を算定する基となる資源エネルギー庁の「都道府県別エネルギー統計」の推計方法が2013年度の確定値報告より変更されたことから、2014年度の確定値、2015年度の速報値について変更後の推計手法に基づき算出しました。

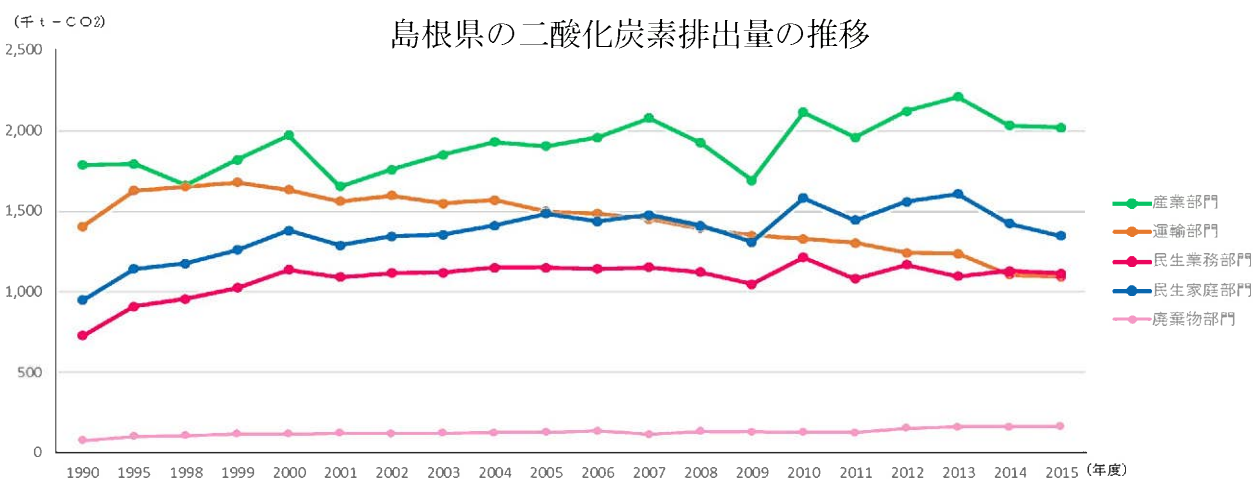
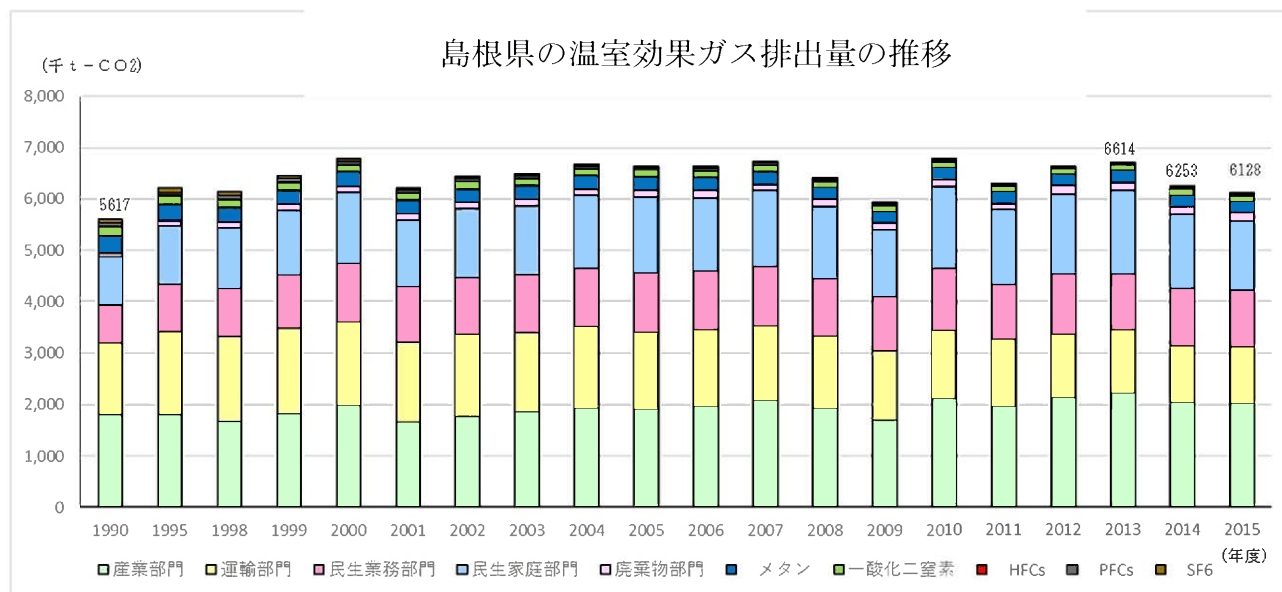
○また、基準年である1990年度については再計算を行い、以降2012年度までの数値については補正により経年推移のグラフを作成しました。

### [県内の温室効果ガス排出量]

○2015年度の温室効果ガス排出量は、前年度と比べ2.0%減少、基準年と比べると9.1%増加しました。これに森林吸収量を加味すると、前年度と比べ3.5%減少、基準年と比べ20.8%減少しました。

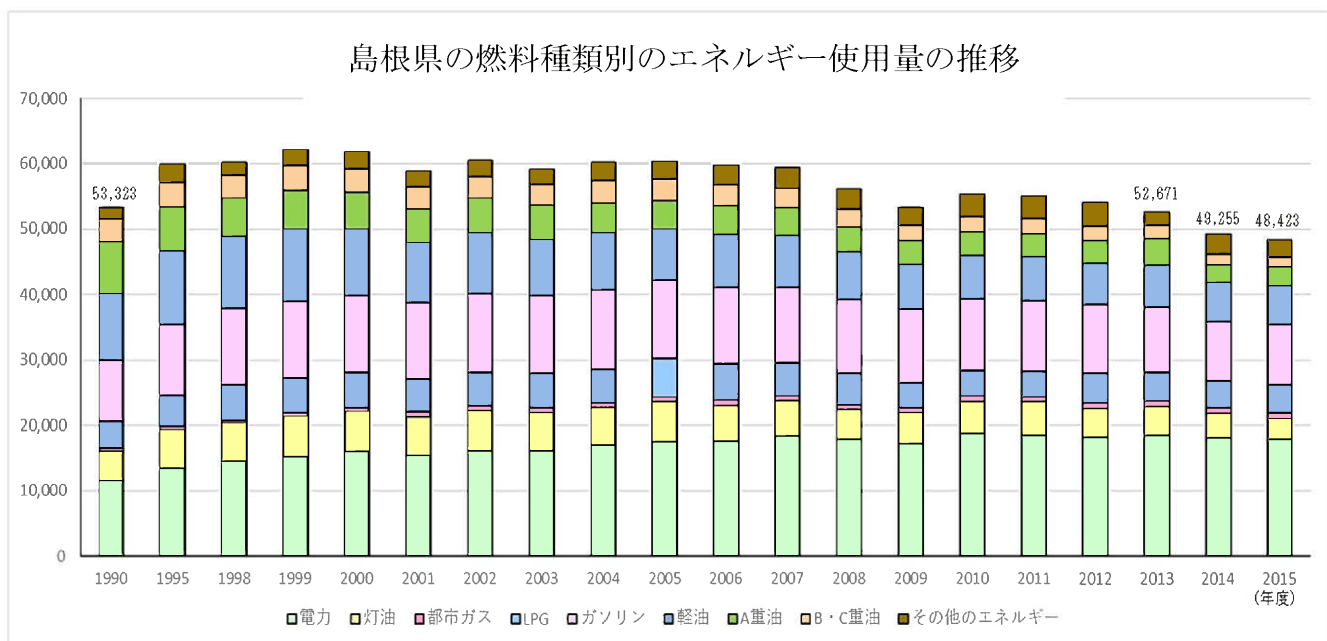
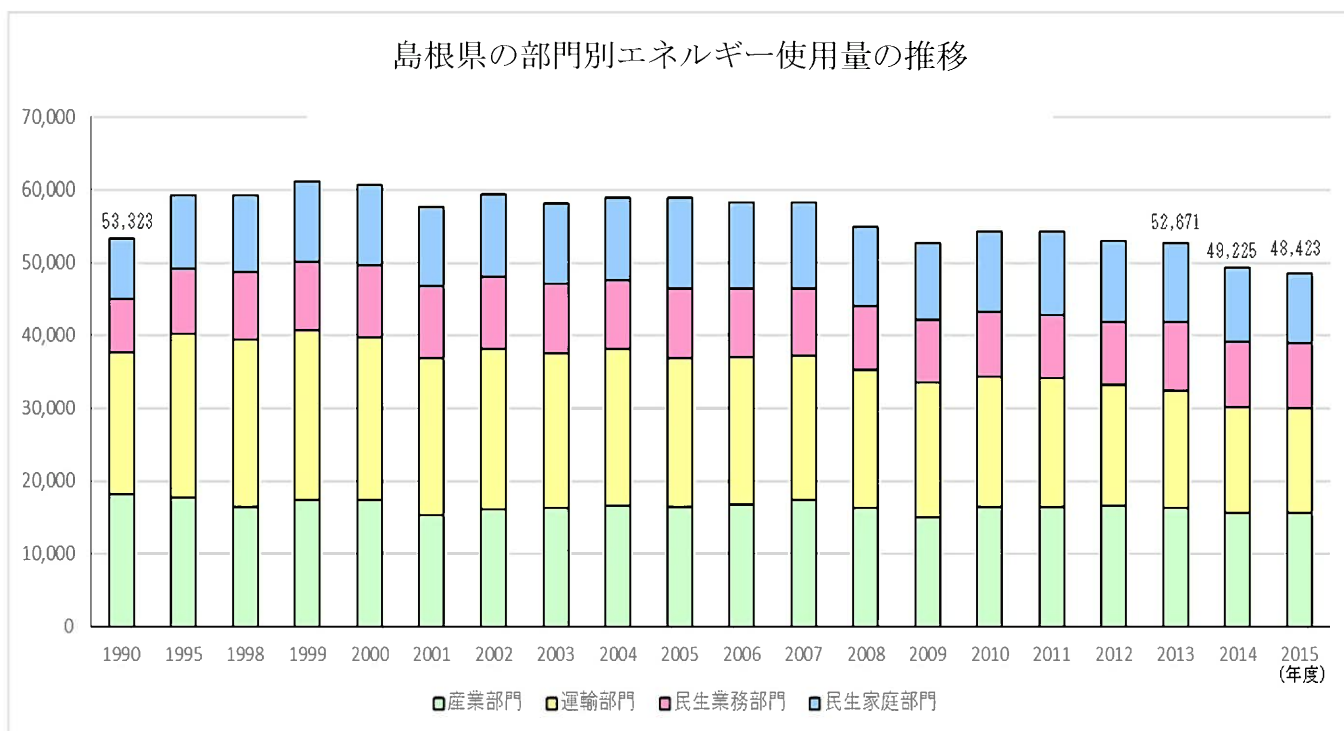
○温室効果ガスの種類で見ると、2015年度は総量の93.8%を占める二酸化炭素の排出量が、前年度と比べると1.9%減少したものの、基準年と比べて16.0%増加しました。

○部門別に見ると、廃棄物を除く部門で前年度から減少したものの、基準年と比べると、運輸部門を除く部門については増加しました。



## [県内のエネルギー使用量]

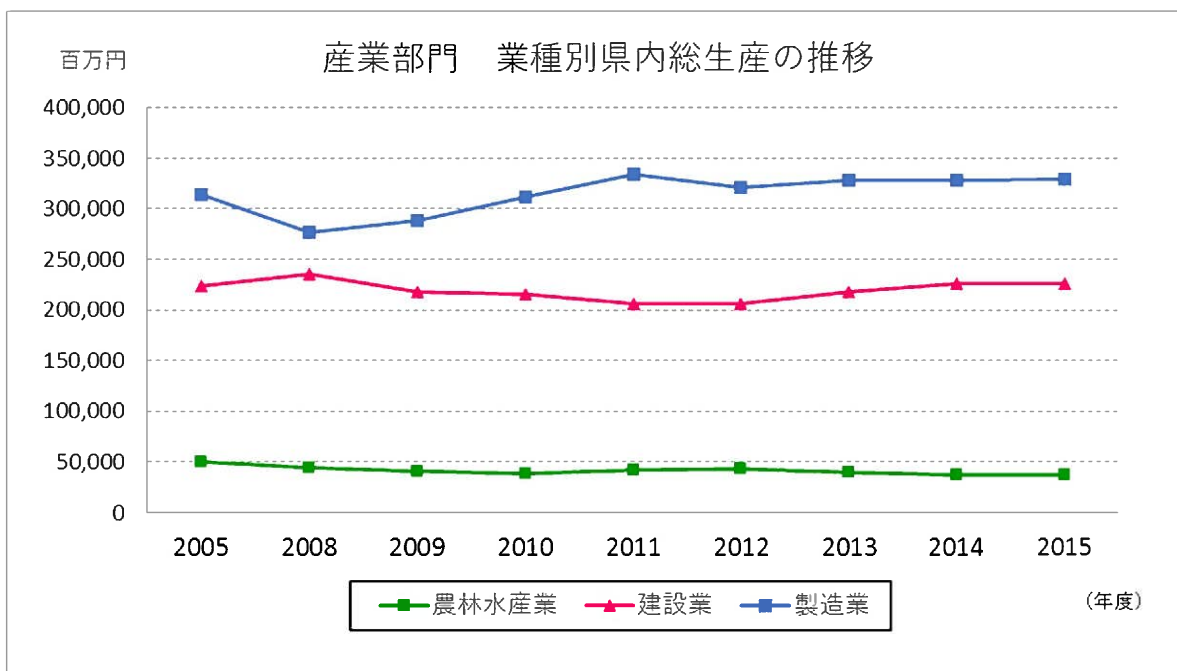
- 県内のエネルギー使用量は1999年度をピークに全体としては減少傾向にあり、2015年度は前年度より1.7%減少し、基準年と比べると9.2%減少しました。
- 部門別には、基準年度と比べて最も減少したのは運輸部門で25.9%減少、次いで産業部門が14.5%減少しましたが、民生部門については、民生業務部門が21.6%の増加、民生家庭部門が13.9%の増加と、基準年のエネルギー使用量を大きく上回りました。
- 燃料種類別には、基準年度と比べて重油、灯油、ガソリン、軽油は減少していますが、電力、都市ガス、LPG、その他のエネルギー（コークス・炭・ジェット燃料等）が基準年のエネルギー使用量を上回りました。



## [部門別二酸化炭素排出量]

### 1 産業部門

- 2015年度の二酸化炭素排出量は、前年度と比べ0.7%減少したものの、基準年と比べると12.9%増加しました。
- エネルギー使用量は、前年度と比べて0.5%減少し、基準年と比べて14.5%減少しました。
- 県内の経済活動の状況を示す県内総生産については製造業で増加傾向が見られますが、県内総生産あたりのエネルギー使用量は減少傾向で、省エネルギー化の取組などが進んでいると考えられます。



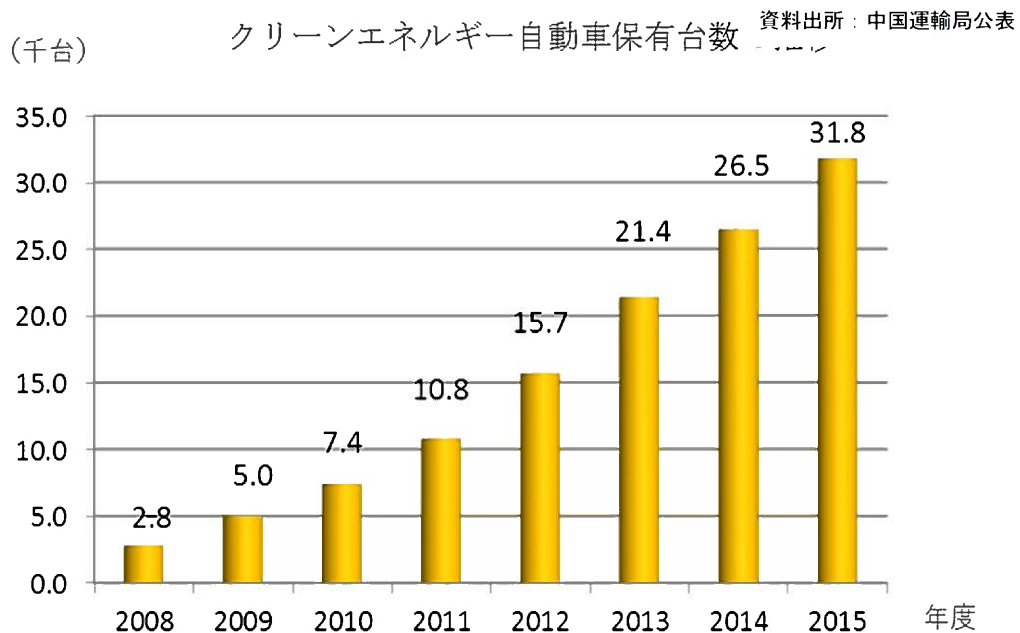
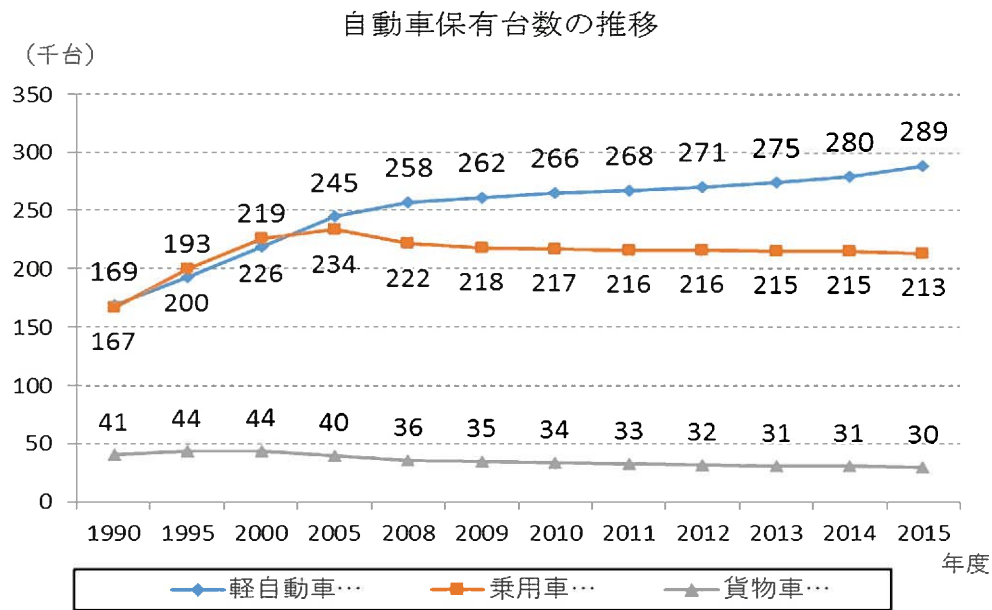
資料出所：製造業のGDP（名目総生産）（県民経済計算（製造業））



資料出所：エネルギー使用量算定値、県民経済計算

## 2 運輸部門

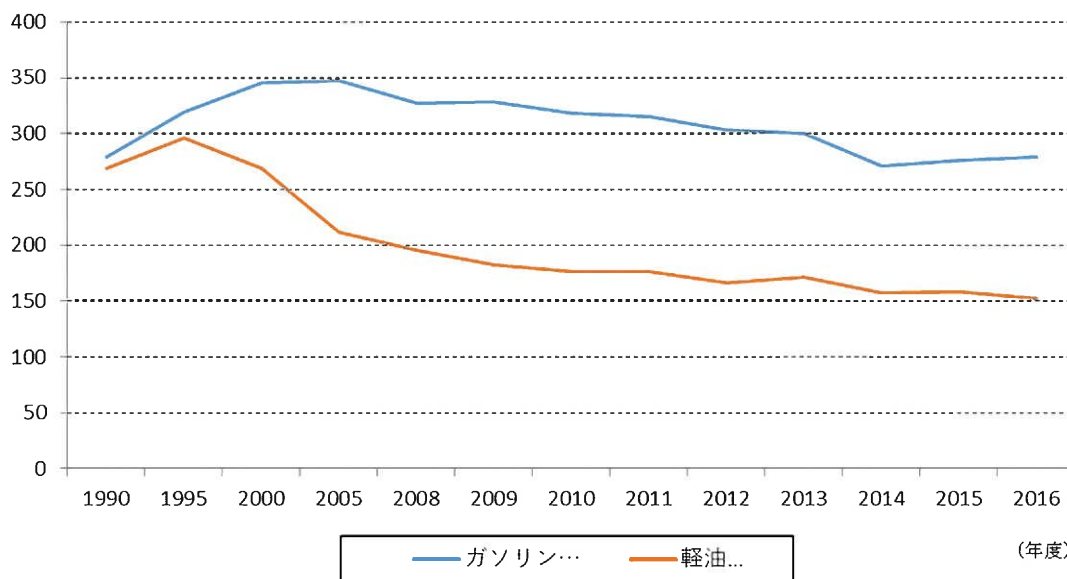
- 2015年度の二酸化炭素排出量は、前年度と比べて1.0%減少し、基準年と比べて22.1%減少しました。
- エネルギー使用量は、前年度と比べると1.0%の減少、基準年と比べると25.9%減少し、特に軽油の販売量が大幅に減少しています。
- 近年販売されている自動車やバス・トラックの燃費性能が向上するとともに、県内で保有されている自動車では、軽自動車やクリーンエネルギー自動車等の燃費性能の良いものへの買い換えが進んでいることが要因と考えられます。



(注) クリーンエネルギー自動車：電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車

資料出所：中国運輸局公表

ガソリン及び軽油販売量の推移（島根県）

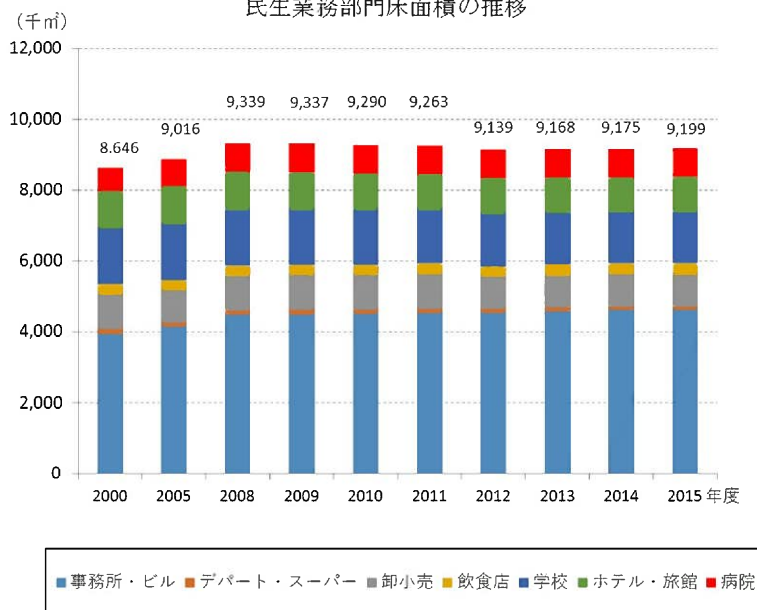


資料出所：石油連盟資料

### 3 民生業務部門

- 2015年度の二酸化炭素排出量は、前年度と比べて1.3%減少したものの、基準年と比べると52.6%増加しました。
- エネルギー使用量については、前年度と比べて1.1%増加し、基準年と比べると21.6%増加しました。
- エネルギー使用量が前年度や基準年から増加している要因としては、オフィスのOA化に伴う電力使用量の増加などが考えられます。

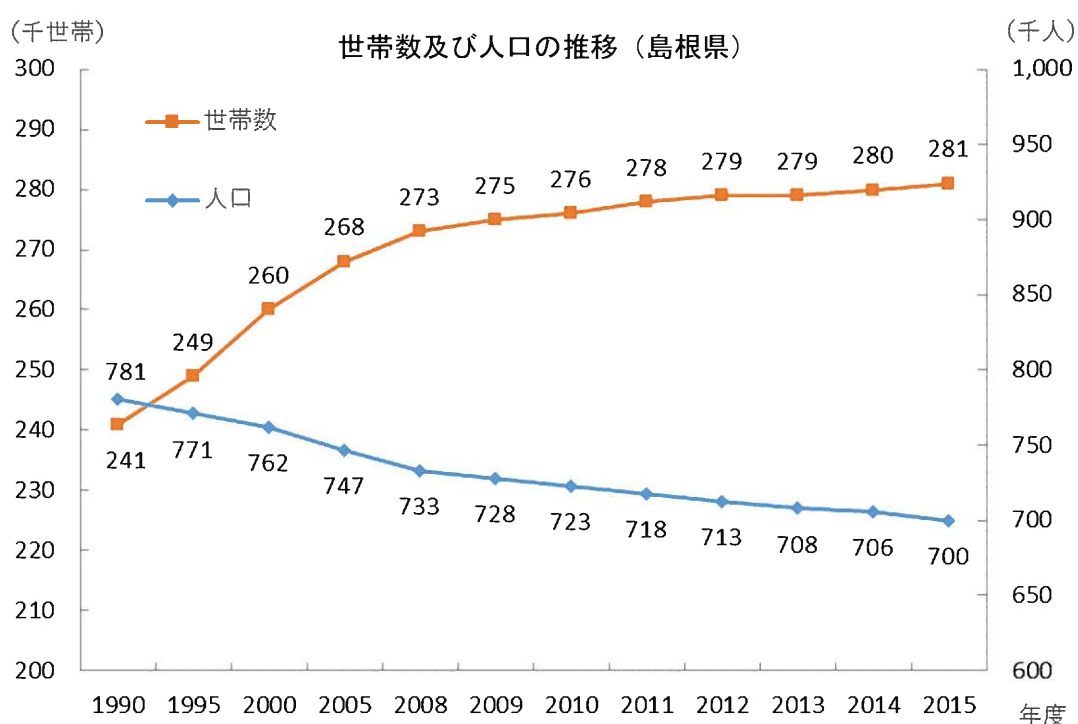
民生業務部門床面積の推移



資料出所：島根県統計調査課資料

#### 4 民生家庭部門

- 2015年度の二酸化炭素排出量は、前年度と比べて5.4%減少したものの、基準年と比べると42.2%増加しました。
- エネルギー使用量については、前年度と比べて6.9%減少したものの、基準年と比べると13.9%増加しました。
- エネルギー使用量が前年度から減少した要因としては、節電や省エネの取組が進んでいることなどが考えられます。
- エネルギー使用量が基準年から増加している要因としては、世帯数の増加等による電力使用量の増加が考えられます。



資料出所：住民基本台帳年報（日本人）

《参考》

月平均気温の推移

松江市での月平均気温の推移		夏季											冬季		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均気温	2010年度	11.5	16.9	22	26.4	29.3	24.9	18	11	6.9	2	5.3	6		
	2011年度	11.9	17.8	22.8	26.3	27.2	23.2	17.6	14.1	6.2	4.1	3.1	7.6		
	2012年度	13.9	17.6	21.5	26.7	28.7	24	17.2	11.2	5	3.5	4.9	9.4		
	2013年度	11.9	18	22.8	27.5	28.2	22.9	18.6	11.3	6.1	4.6	4.7	8.5		
	2014年度	13	18.5	22.1	25.9	25.3	22.1	17	12.4	5.2	5.1	5.4	8.3		
	2015年度	13.8	19.4	21.5	25.5	26.1	21.4	16.8	13.3	8.2	4.8	5.5	9		
気温差	2014→2015	0.8	0.9	-0.6	-0.4	0.8	-0.7	-0.2	0.9	3	-0.3	0.1	0.7		
	2013→2015	1.9	1.4	-1.3	-2	-2.1	-1.5	-1.8	2	2.1	0.2	0.8	0.5		
	2012→2015	-0.1	1.8	0	-1.2	-2.6	-2.6	-0.4	2.1	3.2	1.3	0.6	-0.4		
	2011→2015	1.9	1.6	-1.3	-0.8	-1.1	-1.8	-0.8	-0.8	2	0.7	2.4	1.4		
	2010→2015	2.3	2.5	-0.5	-0.9	-3.2	-3.5	-1.2	2.3	1.3	2.8	0.2	3		

夏季及び冬季の各月の気温が前年より1℃以上高い  
 夏季及び冬季の各月の気温が前年より1℃以上低い

浜田市での月平均気温の推移		夏季											冬季		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均気温	2010年度	11.9	17.2	21.8	26.2	29	24.9	18.2	12.5	8.3	3.6	6.6	7.2		
	2011年度	12.7	17.8	22.5	26	27.1	23.1	17.8	15	8	5.4	4.4	8.6		
	2012年度	14.4	17.6	21.2	26.3	28.3	23.6	17.3	12.2	6.3	5.2	6	10.2		
	2013年度	12.6	17.7	22.2	27.5	27.9	22.8	18.8	12.8	7.8	6.6	5.6	9.4		
	2014年度	13	18.4	21.5	25.4	25.2	21.8	17.2	13.3	6.7	6.7	6.4	9		
	2015年度	14	18.5	20.9	24.9	25.5	21.3	17.1	14.3	9.5	6.2	6.9	9.8		
気温差	2014→2015	1	0.1	-0.6	-0.5	0.3	-0.5	-0.1	1	2.8	-0.5	0.5	0.8		
	2013→2015	1.4	0.8	-1.3	-2.6	-2.4	-1.5	-1.7	1.5	1.7	-0.4	1.3	0.4		
	2012→2015	-0.4	0.9	-0.3	-1.4	-2.8	-2.3	-0.2	2.1	3.2	1	0.9	-0.4		
	2011→2015	1.3	0.7	-1.6	-1.1	-1.6	-1.8	-0.7	-0.7	1.5	0.8	2.5	1.2		
	2010→2015	2.1	1.3	-0.9	-1.3	-3.5	-3.6	-1.1	1.8	1.2	2.6	0.3	2.6		

夏季及び冬季の各月の気温が前年より1℃以上高い  
 夏季及び冬季の各月の気温が前年より1℃以上低い

資料出所：気象庁資料より